



資料 2 - 4

## テレワークとクラウドソーシングへの取組み

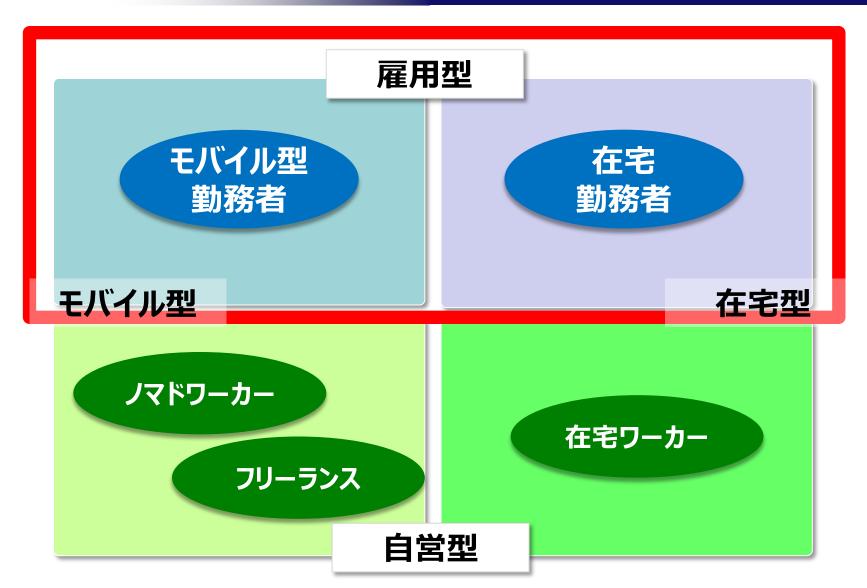
2014年11月14日 KDDI株式会社

涉外·広報本部長藤田 元



#### テレワークの類型-雇用型について \*たらい自治 ひし





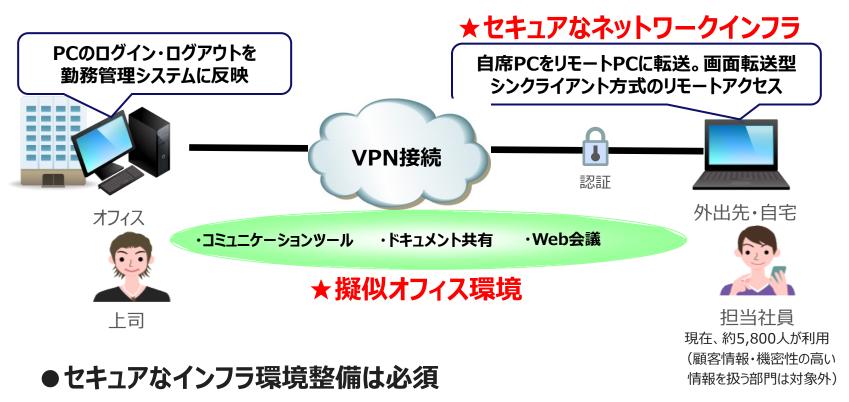
出典:テレワーク等推進WG(第1回) (株) テレワークマネジメント 田澤構成員発表資料



## テレワーク運用のポイント



導入当初 (2005)は主に育児・介護中の社員を対象に仕事との両立支援策として整備 2011年の震災を機に設備を増強、BCPの観点から全社員が利用できる制度に



- ●コミュニケーションを途絶させない「擬似オフィス環境」作りがカギ
- ●出退勤管理など人事制度面の整備も必須



## セキュアなインフラ環境の整備



#### 多様な勤務形態に応じた環境の整備が必要

# 外勤

外出先でも

- ・メール
- ・スケジュール
- アドレス帳
- ·社内資料閲覧

## 内勤

自宅でも

- ・データ集計
- ·企画書作成
- ·営業売上集計
- ・デザイン業務

# 非常勤

フリーランスでも

- ・クラウド
- ・グループウェア
- オンライン会議

時間と場所にとらわれることなく PC業務や打合せをセキュアに遂行



## テレワーク導入による変化



## ワークスタイルの変化

コミュニケーション方法の変化

営業スタイルの変化



## ワークスタイルの変化









モバイルワーク



常時ワーク

#### ダイバーシティ促進

- •育児、介護と仕事の両立
- 体力的に通勤困難でも 業務を継続可能

育児休職後の復職率、 ほぼ100%を達成

#### 時間の効率活用

- •移動時間や待機時間の有効 活用(日報、メール)
- •迅速かつ的確な顧客対応

残業時間12% 削減

#### スピードアップ

- ●状況の変化を見逃さない 意思決定
- •決裁待ちの時間短縮

24時間稟議決裁 可能

## 会社の動きを止めない



## コミュニケーション方法の変化



#### ドキュメント共有



- ・会議の議事録を共有(組織の縦横の考えが透明に)
- ・情報を共有するためだけの 会議を削減

#### ストリーミング



- ・動画での情報展開 (経営 方針など)
- ・社内講習に活用(ケータイ教室講師向け講習など)

#### **Instant Messenger**



- ・コミュニケーション活性化
- ・プレゼンス機能が有効 (在宅勤務時など)

## 得られる情報の「量・質・スピード」が向上



## 営業スタイルの変化

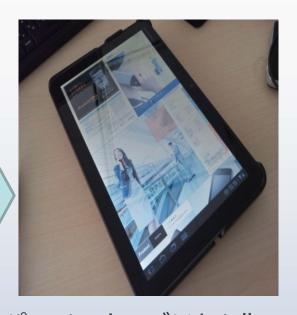


#### 「見せる」に最適

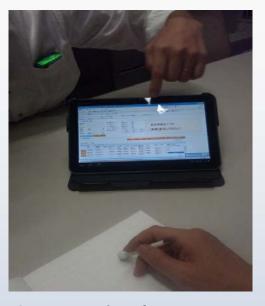
- ·大画面/高精細
- 操作性(タッチパネル)
- ・起動が速い

#### 「持ち運び」に最適

- ・電池持ち
- ・軽量/薄さ



パンフレットのデジタル化 -お客さまのニーズにすぐ対応 -投影してのプレゼン可能



動画での提案

- -お客さまの興味喚起
- -営業の商品知識やスキルに 左右されない提案

## お客さま満足度向上と提案レベルの底上げ



#### 企業導入における課題と解決策



#### 導入時の課題

#### 解決策

会議の調整、コミュニ ケーションの維持確保が 困難



プレゼンス機能のあるインスタントメッセージ、 Web会議等のツールの活用

情報共有が困難



社内SNS上での会議議事録等の共有

労務管理、職務遂行上 の管理が難しい

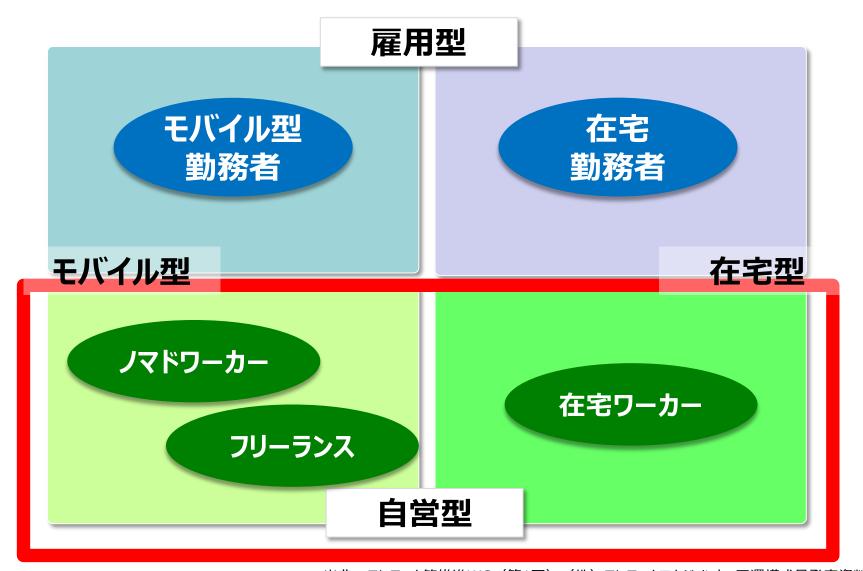


PCログをベースにした出退勤管理。社内規定類整備。上司面談による利用形態の決定



## 





出典: テレワーク等推進WG(第1回)(株)テレワークマネジメント 田澤構成員発表資料



## クラウドソーシング市場の拡大



#### クラウドソーシング (英語: Crowdsourcing)

不特定多数の人の寄与を募り、必要とするサービス、アイデア、またはコンテンツを取得するプロセス。多くの場合細分化された面倒な作業の遂行や、スタートアップ企業・チャリティの資金調達のために使われる。 クラウドソーシングは群衆(crowd)と業務委託(sourcing)を組み合わせた造語で、特定の人々に作業を委託するアウトソーシングと対比される。 クラウドソーシングは狭義では不特定多数の人に業務を委託するという新しい雇用形態を指す。

日本経済新聞 (2014/8/13)

#### 特技を仕事に 労働力のネット仲介市場が拡大 大手がアイデア求め活用

インターネットを通じて企業が個人に業務を外注するクラウドソーシングの市場が拡大している。スキルを生かして働きたい個人と、柔軟に人材を確保したい企業のニーズが合致。

#### 国内市場は2018年度に1820億円と今年度の 4.5倍になる見通しだ。(中略)

クラウドソーシングは2000年代に米国で利用が増え始め、 日本には12年ごろから広がり出した。以来、市場は右肩 上がりに成長する。

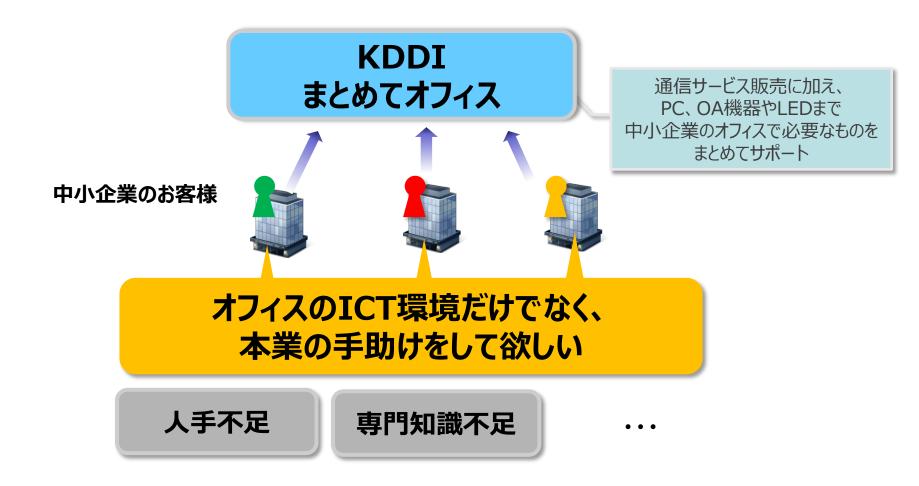
# クラウドソーシングの国内市場は拡大している 12日の会見で、「2020年に会員1000万人」 と話すランサーズ秋好社長 億円 2000 - (予) 500 - (予) 2012年度 13 14 15 16 17 18

(注) 矢野経済研究所調べ。クラウドソーシング上での 仕事依頼金額の総額



## 中小企業のニーズは?





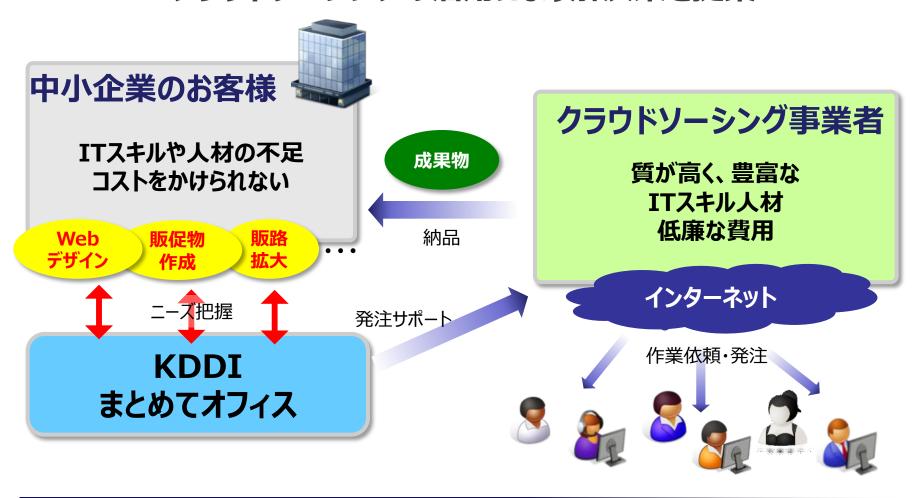
経営者は主に「スキル」「労働力」の不足に悩み



## クラウドソーシングの活用



#### 「KDDIまとめてオフィス」が中小企業のお客様のニーズに対し、 クラウドソーシングの活用により解決策を提案

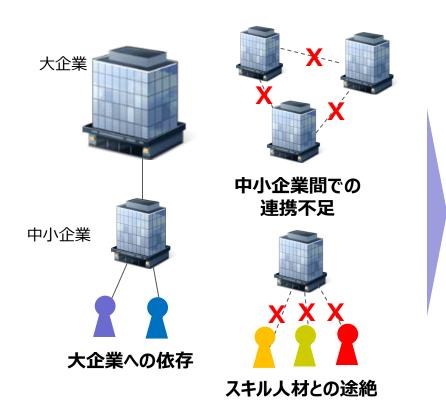




## 



#### 「スキル・人材不足を補う」から「地域内のパートナー探し」へ



中小企業間の 関係構築

スキル人材の確保



KDDIまとめてオフィス

クラウドソーシング事業者

「地域」を切り口に、デジタルのみならず リアルの世界でも地元企業、人のマッチングを促進

マッチングにより、地域の企業⇔企業、企業⇔人材との関係を構築し、 地場産業の活性化、雇用創出、移住・定住を促進



## 最後に



## クラウドソーシングによる「自営型テレワーク」の 普及・拡大が地域の活性化にも寄与

#### 【普及のための課題】

- 地域に不足しているITスキル人材の育成 中長期的な観点から各地域内でのエキスパートを育成、地域産学連携 プログラムの創出
- ■マッチングスキームの支援 自治体と連携し人材データベースを構築、人材⇔企業、企業⇔企業 のマッチングを支援

## **Designing The Future**

